



がまかつ  
フィッシング・ロッド  
取扱説明書

このたびは、がまかつフィッシングロッドをお買い求めいただき誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用いただくために、ご使用になる前によくお読みください。

GAMAKATSU FISHING ROD

# 安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください。



## 高圧線、架線、電線による感電にご注意してください。

高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は最悪の場合重大事故（感電死）を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意願います。

### ①電線との接触による感電

高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣場を移動する時は竿をたたみ高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

### ②落雷による感電

落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時はただちに釣竿から離れ安全な場所に避難してください。落雷による感電死を招く恐れがあります。

### ③釣り場以外の電線による感電

釣り場以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。感電による感電死を招く恐れがあります。

**危険** 気象条件により、空気中に電気を帯びている場合がございます。ビリビリと電気を感じるはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。

**注意** 振出竿の場合、力強く無理に収納すると、継目に手を挟みケガをする恐れがあります。

## **警告** キャスティング（投げる）時の警告

振り込み時は周囲に人がいないか十分に安全を確認してください。釣鉤（つりばり）が人に刺さったり、ウキ、オモリが人に当たると非常に危険で、重大事故に繋がる恐れがあります。

**注意** 幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故やケガに繋がる恐れがあります。

## **注意** 破損時の取り扱い方

使用中、万一竿が破損（折れ、割れ、欠け、剥離）した場合、破損した箇所の破片で手などケガをする恐れがありますので触れないでください。

**注意** 竿を釣りの目的以外に使用しないでください。竿が折れ、ケガの原因になります。

**注意** 竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります。折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、ケガをする恐れがあります。

**注意** 安全に釣りをして頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たりケガをする恐れがあります。釣りをする際には安全のためにサングラス（偏光グラス）、帽子の着用をお勧めします。

## 使用上のご注意

### **危険** **警告** **注意**

**危険** 感電注意 この表示がある欄では、誤った使い方をすると「死亡または重傷」「傷害または物損」が発生する可能性があります。

# 使用後のお手入れ方法とその他のご注意

## ⚠ 注意

● タワシ、みがき粉、ベンジン及びシンナーの使用は絶対に避けてください。竿の塗装面及び時には竿まで傷める原因となります。

※ 竿の汚れは、真水で洗った後に乾いた布で拭き取ってください。

※ 市販のロッドクリーナーやワックス等は注意してご使用ください。塗装面を傷めたり、色落ちする恐れがあります。また、固着の原因となりますので、ワックスや潤滑油を節の合わせ部に塗布しないでください。

● ご使用後、竿を濡れたままの状態では保管しないでください。次回のご使用時に固着を引き起こすことがあります。竿が濡れた場合は水分を十分拭き取り、陰干ししてから保管してください。

● 乾燥等で竿を立てかける際は絶対に倒れない様にしてください。

● ご使用後は安全な場所で竿を保管してください。倒れたり、他のものとぶつかったりすると、破損することがあります。

● 車のトランク等に長期間放置しないでください。高温、密閉状態での長期間放置は竿の大敵です。

### ● ブリスター (水ぶくれ) の防止

汚れたまま竿を密閉状態にすると、竿内の水分により塗装面にブリスターが発生します。これを防止するには、水分を十分拭き取り、風通しの良い場所に陰干しして水分を完全に取ってください。

### ● 腐蝕錆の防止

汚れたままの状態にするとメッキ面、その他の加工処理面の自然退色及び金属部分の腐蝕により、尻栓等に不具合が発生することがあります。これを防止するには、塩分、水分、ゴミ等を完全に拭き取ってください。また尻栓を外して陰干しして、水分を完全に抜いてください。

※ 自重は、素材・塗料・部品等により、ばらつきますので標準自重で表示しております。

※ 全長は合わせの深さ等により、ばらつきますので標準全長で表示しております。標準自重・標準全長、その他の仕様も公正競争規約に基づく表示をしております。

※ 竿は一本一本手作業で仕上げられています。そのため商品により多少の色、質感のバラツキが生じる場合があります。

※ ご使用になられた頻度、または外的要因により発生した不具合 (塗装、メッキ、その他の加工処理面の自然退色、腐蝕、剥離、こすれ傷等) は保証期間内であっても有償となります。

● カタログ表示の「適正ハリス」「錘負荷」は、竿をお選びいただく際の慣例上の目安であり、強度を表したものではありません。

● 竿のしなりに糸巻き厚塗り部の伸びがつかいけず、糸目に沿ってヒビが入る場合がありますが、基本機能 (ガイドやシートの固定力) に問題はありません。

● 竿の曲がりについて現在のロッド生産技術上、グラス、カーボンなどの素材の違いを問わず、若干の曲がりがある場合がありますが、強度機能上は問題ありません。

● ご使用中の破損事故を防ぐために、ご使用にならない時も安全な状態で保管ください。

● 強風時に竿をあおったり強く振り込んだりすると、竿の限界強度を超え破損しますのでご注意ください。

● 固い地面 (河原や防波堤、岩場など) に直接竿を置くと破損の原因となる傷がつきますのでご注意ください。

● 当て傷のついた竿は折れやすくなっていますのでご注意ください。特に塗装面を乗り越した傷がある場合は、強度低下を起こしています。

● 元竿等に処理してあるスベリ止め加工は使用条件によっては、紫外線劣化等で剥がれることがありますので、ご了承ください。

● リールを取付ける際は、ガタがないようしっかりと固定してください。力がかった時にリールが外れて落下し、傷付いたり故障、紛失の恐れがあります。

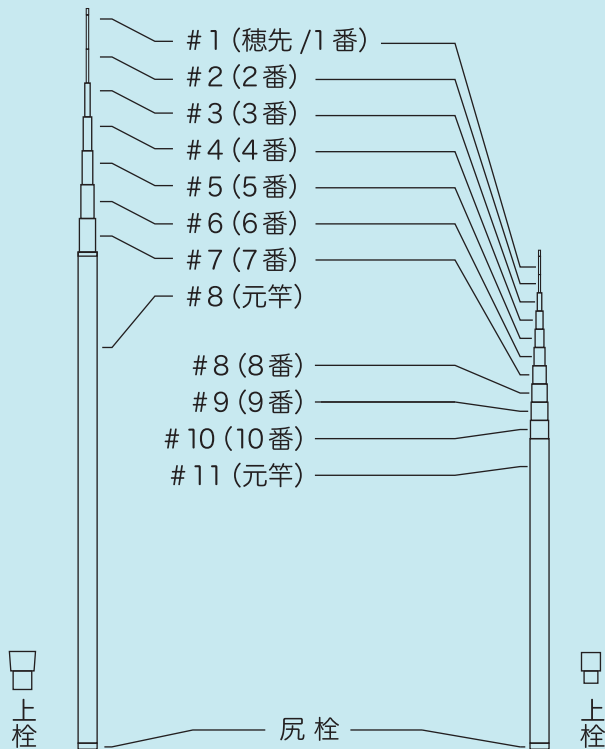


# 各部の名前と仕様

※修理及び部品請求の際は、この名称をお使いください。

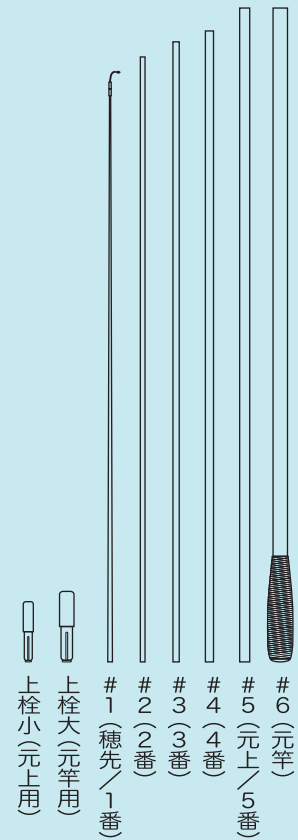
## ガイド無し振出竿

- 主な対象機種としては、鮎、溪流、鯉竿があります。
- 替穂先が付いているものもあります。



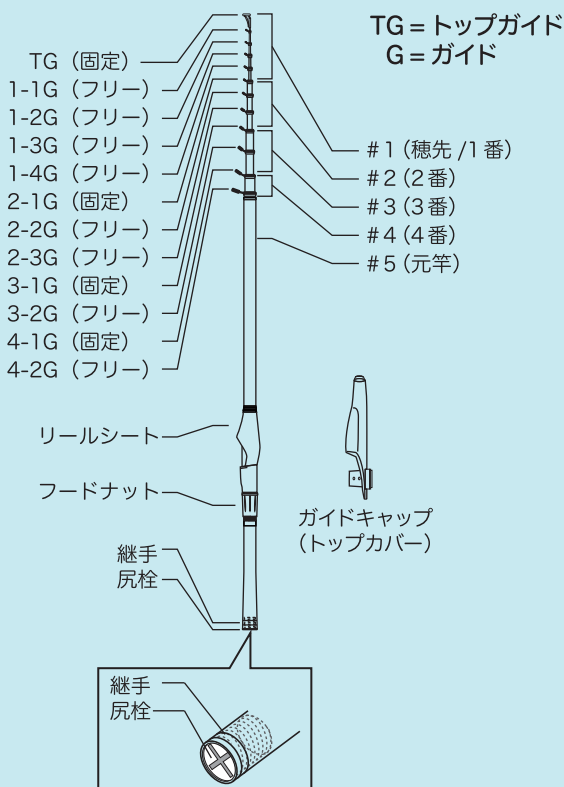
## ガイド無し並継竿

- 主な対象機種としては、へら竿があります。



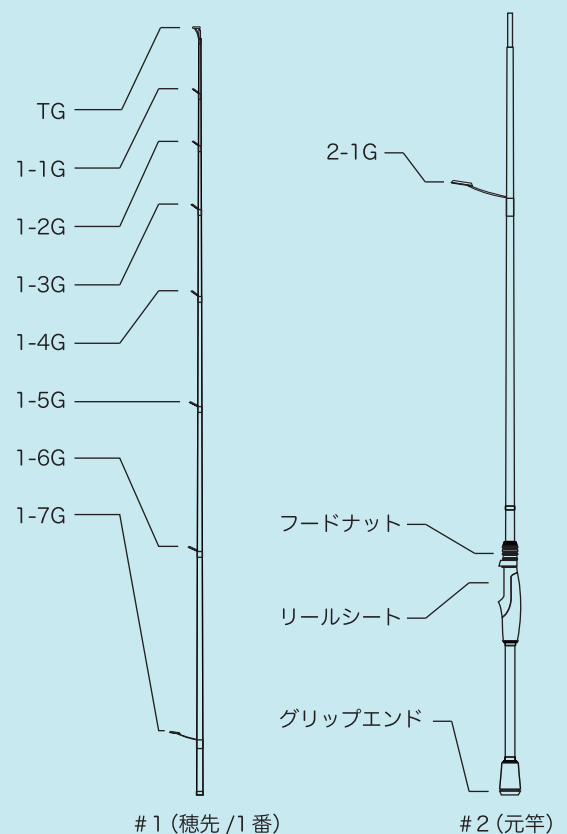
## ガイド付振出竿

- 主な対象機種としては、磯 (上物)、投、船、ルアー竿等があります。



## ガイド付並継竿

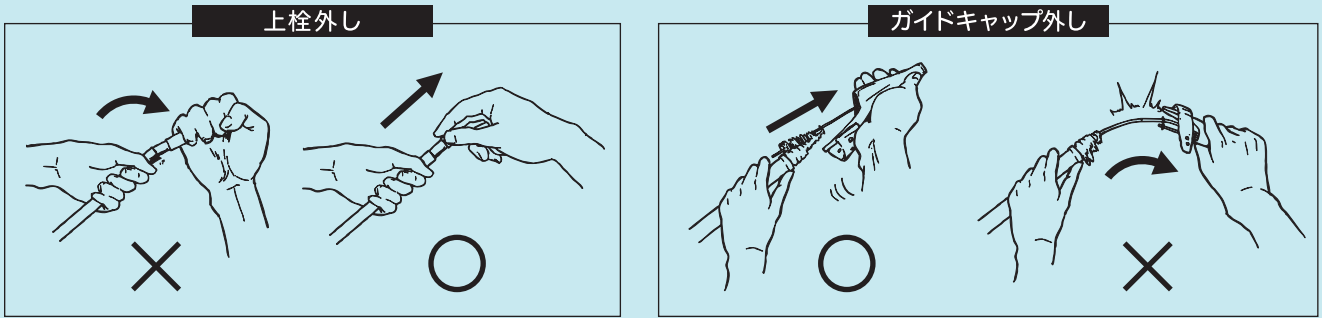
- 主な対象機種としては、磯 (底物)、投、船、ルアー竿等があります。



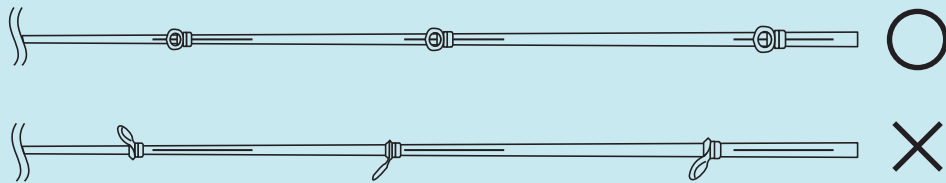
# 使用上のご注意

## 振出竿の伸ばし方

- 竿を小脇に挟み、ガイドキャップ・上栓を真上に引き抜くように外します。  
※無理にひねったりすると竿が破損する場合がありますのでご注意ください。

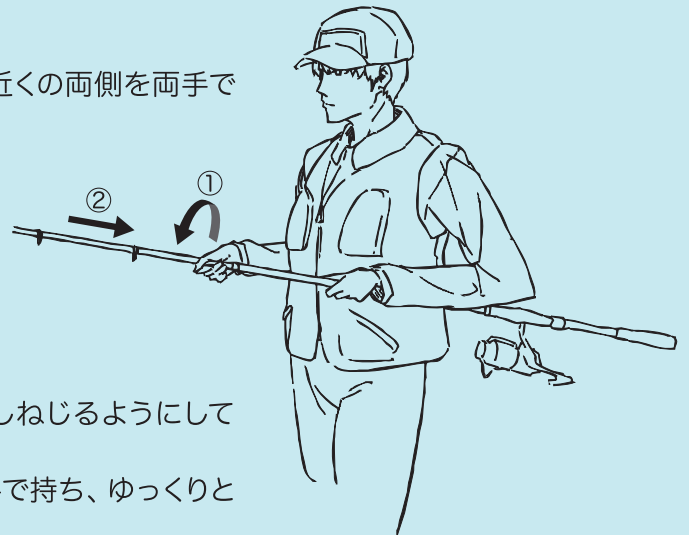


- 穂先（#1）から順に一本ずつ伸ばし、継ぎ部を少しねじるようにして固定します。  
※固定が弱い場合、使用中に節落ちしたり竿の破損の原因になりますのでご注意ください。
- 遊動ガイドを固定するときはガイドリングを一行に揃えて固定します。  
※遊動ガイドの固定が弱い場合、使用中に外れて竿の破損の原因になりますのでご注意ください。



## 振出竿の納め方

- 竿を小脇に挟み、元竿から順番に納めます。継ぎ目近くの両側を両手で持ち、ゆっくりひねりながらねじ込むように納めます。  
※穂先から収納すると太い継番の間に入り込むなど、破損の原因になりますのでご注意ください。  
※尻栓を外した状態で納めていくと、固定ガイドが外れる原因になりますのでご注意ください。

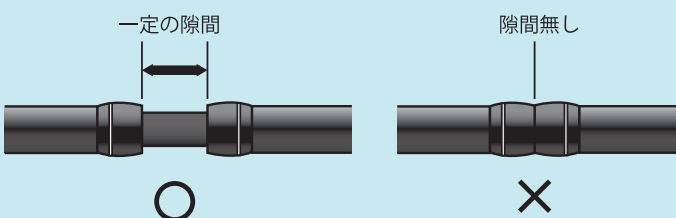


## 並継竿の継ぎ方、納め方

- 竿を小脇に挟み、穂先から元竿へと順番に継ぎ、少しねじるようにして固定します。
- 収納は必ず元竿から順番に、継ぎ目近くの両側を両手で持ち、ゆっくりとねじるようにして緩めて抜きます。

※ガイドを持って継いだり抜いたりしないでください。ガイドの曲がりや糸巻の破損の原因になりますのでご注意ください。  
※斜め方向に力が加わると、口割れの原因になりますのでご注意ください。

## 印籠（インロウ）継ぎ



- 印籠継合わせは、素材樹脂の収縮膨張による機能上の緩み防止のために、一定の隙間が開くように設計されておりますので無理に押し込まないでください。

(インロウ及び差込側内面の加工は絶対にしないでください。)

# 使用上のご注意

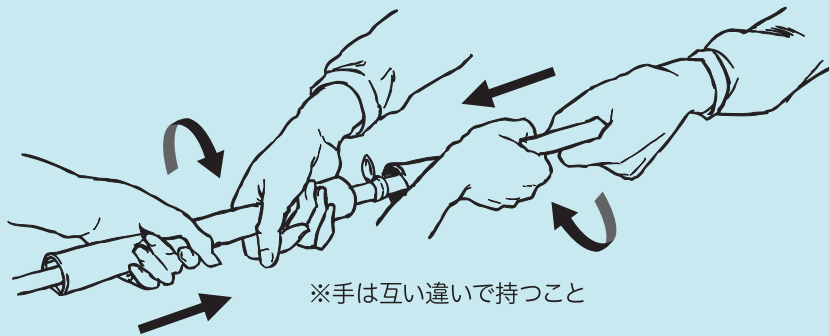
## 節落ちした場合

- 竿の細い節が落ち込んだ場合、途中の太い節が落ち込むと細い節の玉口と太い節の尻部が接触し、互いに破損する事がありますのでご注意ください。
- 落下したまま竿を引き伸ばすと破損の原因になります。尻栓を外して一度全節を抜き、再度継ぎ直してください。
- 節落ちの対策としては、使用中に何度か竿を伸ばし直してゆるみをとってください。

## 固着した場合

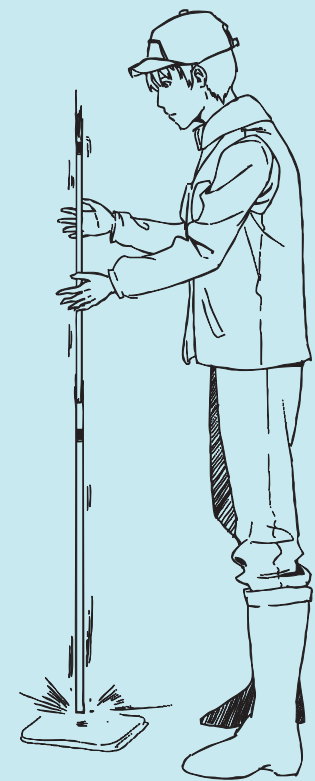
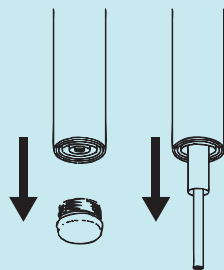
### ■外し方

- 二人向かい合って固着した継ぎ目の近くをゴムシート等のスベリ止めを当てて握り、お互いに逆方向にゆっくり回しながら押して継ぎ目をゆるめてください。並継竿の場合はゆっくり回しながら引いて緩めてください。
- ※ 一気に力を入れて押し込むと継ぎ目に手をはさみ、ケガをする恐れがありますのでご注意ください。



- ガイド無し振出竿の場合は、尻栓を外して固着していない部分を抜き取ってください。水平な場所に竿を垂直に立て、元竿や仕舞い込んだ節を誘導管にして固着した竿をストーン、ストーンと垂直に落とせば簡単に外れます。そのとき、タオルや段ボール等を敷いておけば端面を傷つけにくくなります。元竿の場合は必要以上の力で落とすと継手などの破損を起こす場合がありますのでご注意ください。

① 尻栓を外して固着していない部分の竿を抜き取ってください。



② その後、固着した竿部分だけを落してください。

### ■継ぎ目に砂などが入った場合

- 振出竿は元竿の尻栓を外し、一本一本丁寧に抜き出して竿の内側を手入れしてください。またガイド付の場合は尻栓を外し、水圧で砂を出すように水洗いした後、風通しの良い場所で充分日陰干しをしてください。

※ 固着は、水が付着した時や投げの力、魚の強い引きなどによって起きることがあります。力任せに外そうとすると竿の破損原因になりますので、上記の要領で外れない時は「がまかつ契約販売店」または「がまかつお客様センター」にご相談ください。

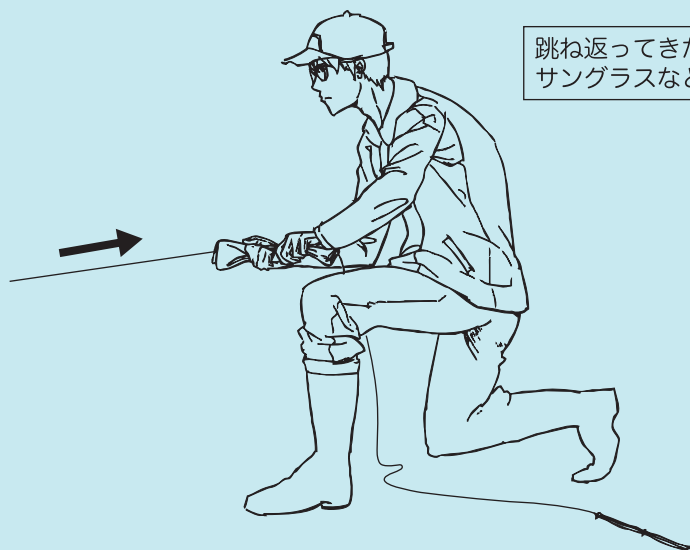
# 使用上のご注意

## ロッドホルダー・ロッドクランプをご使用の場合

- ロッドホルダー及びロッドクランプの使用時において強い締め付けを行いますと、締め付部（素材等）の破損が生じる恐れがあります。この様な破損による損害について当社としては補償しかねますのであらかじめご了承ください。

## 根掛かりした場合（水中や陸上の障害物に仕掛けが絡み外れないこと）

- むやみに竿をあおらないでください。  
竿が破損する場合があります。
- 不用意に垂直方向に抜き上げると竿の一部に荷重が集中し破損の原因になります。



跳ね返ってきた際に目を怪我しないよう  
サングラスなどをかけてください。



- 糸を手にとって切ってください。  
そのとき糸で手を切る場合がありますので、手袋やタオルで手を保護してください。また切れた仕掛けが飛んできてケガをする場合がありますので充分ご注意ください。

# 保証書の保管について

ご購入時には保証書にお買い上げ店の「販売店名、お買い上げ時のレシートや領収書等の証明書」が添付されていることをお確かめの上、大切に保管してください。

## 【保証書が添付されていない商品】

- ・がまワカサギ・荷掛け、竿掛け、たもの柄
- ・LUXXE（一部商品）

# アフターサービスに関するお願い

修理を依頼される際、がまかつ契約販売店まで保証書と購入証明書と製品をお預けいただき、修理内容を詳しくお伝えください。

修理内容によっては、お時間をいただく場合があります。

## 【万一故障が生じた時】

- 保証書付きの商品については、保証書と購入証明書を添えてがまかつ契約販売店までお持ちください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理及びパーツ供給をさせていただきます。
- 保有期間を過ぎた場合は、パーツが供給できず修理をお断りする場合があります。
- 保証期間経過後の保証書、又は保証書無しの商品は有償修理とさせていただきます。
- パーツ部品を注文される場合は、必ず商品名・号数・長さをお知らせください。お取り寄せいただいたパーツ部品は調整が必要な場合があります。
- 改造された竿は、修理をお断りする場合があります。
- 改造後の責任は負いかねます。
- 改造後の故障については、保証期間中であっても責任を負いかねる場合がありますのでご注意ください。

# お問い合わせ窓口

ロッドのメンテナンス方法、修理のご依頼やパーツのご注文方法などのお問い合わせは右記、2次元コードよりご確認ください。

